

科目	論理表現 I	学年	第1学年	開講	通年	2	単位
----	--------	----	------	----	----	---	----

教科書: MY WAY Logic and Expression I  
 副教材: MY WAY Logic and Expression I ワークブック

1 学習の到達目標

--

2 学習計画及び評価方法

- a 知識技能
- b 思考・判断・表現
- c 主体的に学習に取り組む態度

学期	項目	単元	学習内容	学習のねらい	月	考查	評価の観点		
							a	b	c
前期	L1	Let's Talk about Ourselves	現在形 (be動詞)	be動詞の現在形の特徴やきまりに関する事項を確認する。身近な人やものごとについて言ったり書いたりする。	4		○	○	○
			現在形 (一般動詞)	一般動詞の現在形の特徴やきまりに関する事項を確認する。身近な人やものごとについて説明する文を言ったり書いたりする。			○	○	○
	L2	School Life	過去形 (be動詞/一般動詞)	好きだった教科について、動詞の過去形や教科を表す表現などを用いて、事実や自分の考え、気持ちを即興で伝え合	5		○	○	○
			現在進行形/過去進行形	動詞の過去形の特徴やきまりに関する事項を確認する。身近な人やものごとについて言ったり書いたりする。			○	○	○
	L3	The Arts	未来表現	週末の予定について、未来表現やイベントを説明する表現などを用いて、事実や自分の考え、気持ちを即興で伝え合	6	中間	○	○	○
			基本時制 (現在形/過去形/未来表現) のまとめ	未来表現の特徴やきまりに関する事項を確認する。身近な人やものごとについて言ったり書いたりする。			○	○	○
L4	Food and Culture	現在完了形① (完了/経験)	日本の食文化について、現在完了形 (継続) 等や各国の食べ物を表す表現等を用いて、事実や自分の考え、気持ちを正確に書	7		○	○	○	
		現在完了形② (継続) /現在完了進行形	現在完了形 (継続) 等の特徴やきまりに関する事項を確認する。身近な人やものごとについて説明する文を言ったり書いた			○	○	○	
L5	Welcome to Our Town	助動詞 (can/may/must/have to/should)	地域の特徴等について、受動態や地域の特産品を表す表現などを用いて、事実や自分の考え、気持ちを整理し、発表する。	7		○	○	○	
		受動態	受動態の特徴やきまりに関する事項を確認する。身近な人やものごとについて説明する文を言ったり書いたりする。			○	○	○	
前期 授業評価							○	○	○
後期	L6	Traveling Abroad	不定詞① (名詞的用法/形容詞的用法)	買いたいおみやげについて、不定詞 (名詞的用法、形容詞的用法) 等を用いて、事実や自分の考え、気持ちを即興で伝え合	9		○	○	○
			不定詞② (副詞的用法/原形不定詞)	不定詞 (名詞的用法、形容詞的用法) の特徴やきまりに関する事項を確認する。身近な人やものごとについて言ったり書			○	○	○
	L7	Sports	動名詞	分詞による後置修飾、分詞構文の特徴やきまりに関する事項を確認する。身近な人等について説明する文を言ったり書いたり	10	期末	○	○	○
			分詞による後置修飾/分詞構文	スポーツ選手の特徴について、"Who am I?" クイズの表現などを用いて、事実を整理し、伝え合う。			○	○	○
	L8	Everyday Technology	比較① (比較級)	比較 (最上級、同等比較) の特徴やきまりに関する事項を確認する。身近な人やものごとについて説明する文を言ったり書	11		○	○	○
			比較② (最上級/同等比較)	翻訳機が発達した状況について、賛成意見や反対意見を言うための表現などを用いて、事実や自分の考え、気持ちを整理し、			○	○	○
L9	Take Care	関係代名詞① (who/which/that (主格・目的格))	関係代名詞 (目的格の省略など) の特徴やきまりに関する事項を確認する。身近な人等について説明する文を言ったり書いた	12	中間	○	○	○	
		関係代名詞② (目的格の省略/whose/what)	健康維持に必要なことについて、意見を述べ合うの表現などを用いて、事実や自分の考え、気持ちを整理し、伝え合う。			○	○	○	
L10	SDGs — Take Action!	関係副詞	仮定法の特徴やきまりに関する事項を確認する。身近な人やものごとについて説明する文を言ったり書いたりする。	1		○	○	○	
		仮定法	友だちについて、感謝を伝えるの表現などを用いて、事実や自分の考え、気持ちを整理し、正確に書く。			○	○	○	
後期 授業評価							○	○	○

3 評価の観点

特に「話すこと[やり取り]」「話すこと[発表]」「書くこと」の活動の上で必要な、言語能力の本質としての思考力・判断力・表現力の養成を土台として、中学校までに習得した能力を更に伸長させながら、英語の基礎的な知識や技能の習得、コミュニケーション能力を養成できたか。

4 観点別評価の評価基準

3観点	評価方法	
知識・技能	・定期考査・小テスト等	英語を読み・書き・話すために必要な音声・語彙・文構造・文法を理解し、英語を運用するための技能を身につけていること。
思考・判断・表現	定期考査・プロジェクト・プレゼンテーション・グループワーク等	さまざまな課題を通して身につけた知識や技能を使って、英語を読み、聞いたときに、内容の概要や要点を把握できること。自分の意見や気持ちを英語では無し、書いて、相手に伝えることができること。
主体的に学習に取り組む態度	・授業態度・提出物等	・英語を勉強する意義や必要性を理解し、実際に使ってみようとする意欲や態度・自分の英語力や学習状況を把握し、学習方法などを自ら改善しようとする態度。・設定された期限までに課題を完成させるのに必要な時間管理能力。